

2011年3月期 通期連結決算説明会

大陽日酸株式会社



2011/5/13

1. 2011年3月期 通期連結業績
2. 前中期経営計画の実績(2008～2010年度)
3. 新中期経営計画の概要(2011～2013年度)
4. 東日本大震災による影響
5. 2012年3月期 通期連結業績(予想)



2011/5/13

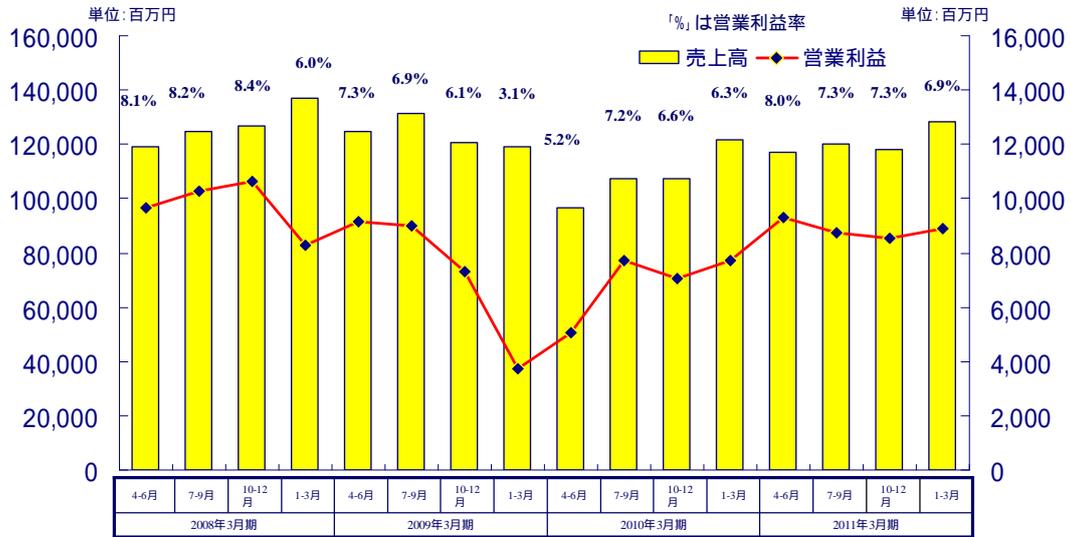
2011年3月期 通期連結業績

2011年3月期 通期連結業績

単位: 億円

	10年3月期 利益率	11年3月期 公表値(5/14)	11年3月期 公表値(4/25)	11年3月期 (実績)	前期比 増減率
売上高	4,333	4,800	4,835	4,836	502 + 11.6%
営業利益	275 6.4%	325 6.8%	354 7.3%	354 7.3%	79 + 28.7%
経常利益	270 6.2%	305 6.4%	340 7.0%	341 7.1%	71 + 26.3%
当期純利益	157 3.6%	170 3.5%	125 2.6%	127 2.6%	-30 - 19.1%

四半期ごとの業績推移



セグメント業績

2011年3月期 セグメント業績

単位: 億円

	2010年3月期		利益率	2011年3月期		利益率
	売上高	営業利益		売上高	営業利益	
産業ガス	2,610	179	6.9%	2,886	241	8.4%
エレクトロニクス	1,106	65	5.9%	1,264	84	6.7%
エネルギー	323	12	3.9%	376	14	3.7%
その他	294	33	11.2%	308	30	9.9%
調整額		15			15	
合計	4,333	275	6.4%	4,836	354	7.3%



2011/5/13

産業ガス関連事業

単位: 億円



売上高のグラフは、海外売上高ベースで分類しております



2011/5/13

主な産業ガス関連事業(売上高)

セパレートガス



海外

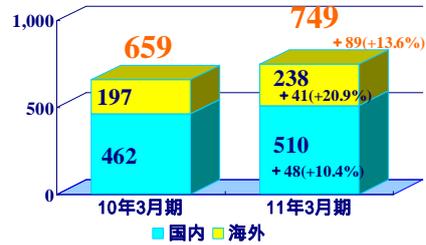
北米は、一部事業売却により数量、金額ともに減少
アジアは、液化ガスが好調

国内

鉄鋼、化学向けオンサイトガス供給好調
中小規模ユーザー向け液化ガスも回復基調

その他ガス

単位: 億円



海外

北米の新規連結が貢献

国内

炭酸ガスは、金属加工、自動車向け溶接用、食品向け好調
水素は電子部材関連向け堅調



2011/5/13

主な産業ガス関連事業(売上高)

ガス関連機器等



海外

北米での機器好調、新規連結も貢献

国内

ガス供給設備が堅調
新規連結も貢献

溶断機器・材料



海外

北米は新規連結も加わり増加
アジア向け輸出好調

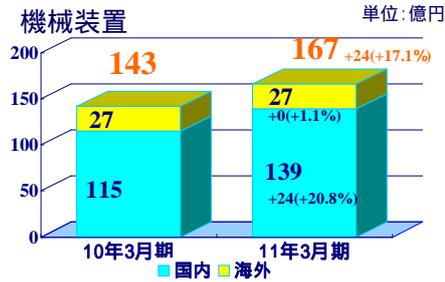
国内

溶断機器はレーザー切断機が好調に推移



2011/5/13

主な産業ガス関連事業 (売上高)



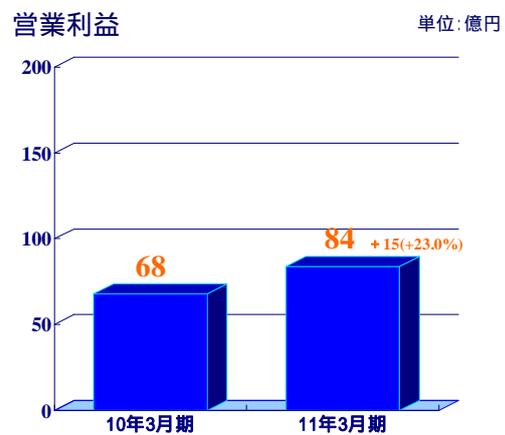
海外

鉄鋼・化学を中心とした主要産業が回復基調
設備投資新規引合い増加

国内

進行基準対象大型工事が概ね順調に進捗
大手電炉向けに空気分離装置を受注

エレクトロニクス関連事業



主なエレクトロニクス関連事業(売上高)

セパレートガス



海外

アジア・北米で、窒素が堅調

国内

窒素は、半導体・液晶向けに堅調
アルゴンは半導体シリコン向けに好調

電子材料ガス



海外

台湾、中国、韓国等の液晶や半導体向け好調
シンガポールで貯蔵設備を増強

国内

半導体、液晶向け需要堅調



2011/5/13

主なエレクトロニクス関連事業(売上高)

電子関連機器・工事



海外

アジアは、太陽電池の新規投資などもあり、回復傾向

国内

一部工事の計画遅延等により減少

MOCVD装置



海外

上期に台湾向け出荷実績あり
アジア向けに大型量産機を受注

国内

大型量産機が順調に出荷
最新鋭の大口径量産機を開発



2011/5/13

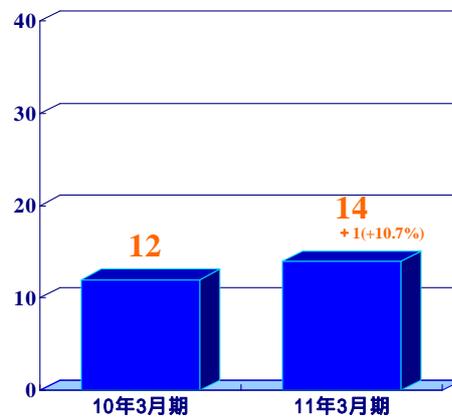
エネルギー関連事業

売上高



営業利益

単位: 億円



2011/5/13

主なエネルギー関連事業(売上高)

LPガス

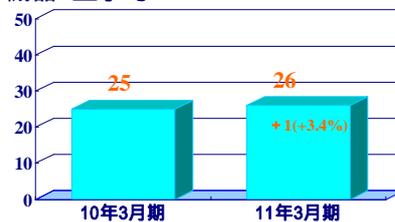


国内

輸入価格上昇に伴う販売価格値上げ
 厳冬の影響により民生用は下期に回復、工業用需要は概ね堅調推移
 販社の更なる地域密着による経営強化

機器・工事等

単位: 億円



国内

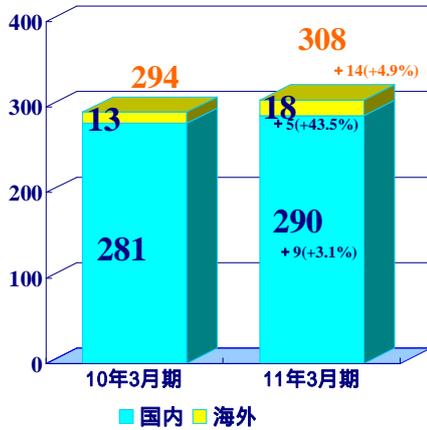
工業用設備投資需要はほぼ前期並み



2011/5/13

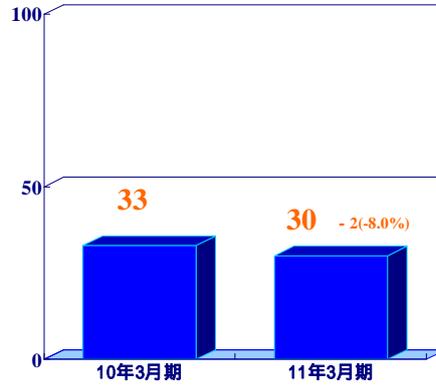
その他事業

売上高



営業利益

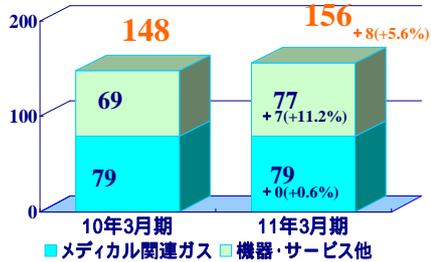
単位: 億円



2011/5/13

主なその他事業(売上高)

メディカル関連事業



国内

医療用酸素は液化ガスおよびシリンダーともに堅調
在宅関連及びバイオ機器は好調

サーモス事業



海外

中国で2つ目となる新工場が生産開始

国内

携帯マグ等が堅調
今春販売の新製品も好評



2011/5/13

前中期経営計画の総括 (2008～2010年度)

「Stage Up 10」～グローバル企業への挑戦

《経営指標:トリプル10》

- ・世界シェア10%
- ・営業利益率10%以上
- ・ROCE10%以上を維持・継続

前中期経営計画の基本重要戦略

1. 成長市場・成長地域への経営資源の集中
2. 川上戦略の強化
3. M & A戦略の推進
4. コストダウンの実行
5. グループ経営の強化



2011/5/13

前中期経営計画の成果(2008~2010年度)

2011年3月期 業績目標

・売上高	6,000億円 +	4,836億円
・営業利益	540億円	354億円



2011/5/13

前中期経営計画の成果(2008~2010年度)

【中長期ビジョン 《経営指標:トリプル10》の2010年度状況】

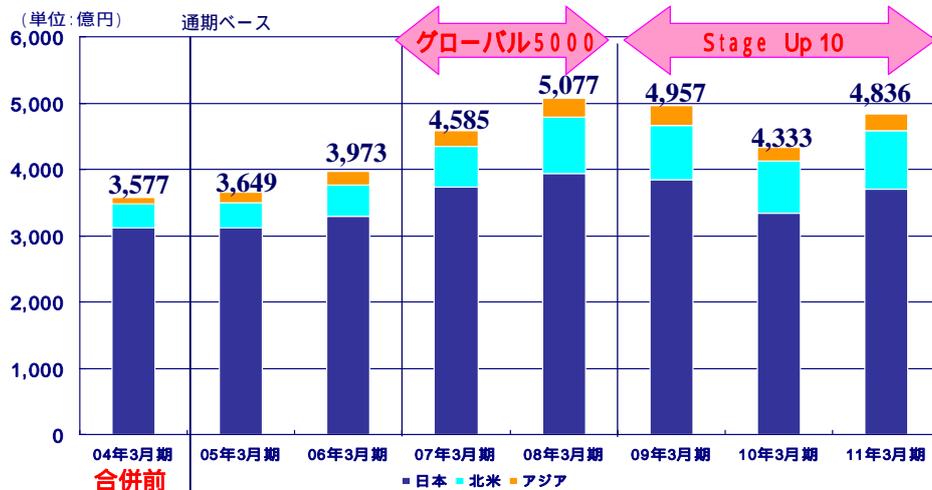
・世界シェア10%	7.5% (*1)
・営業利益率10%	7.3%
・ROCE10%	7.8%

*1: 2010年度Cryo Gas Internationalおよび
各社Annual Reportをもとに弊社試算



2011/5/13

売上高の推移



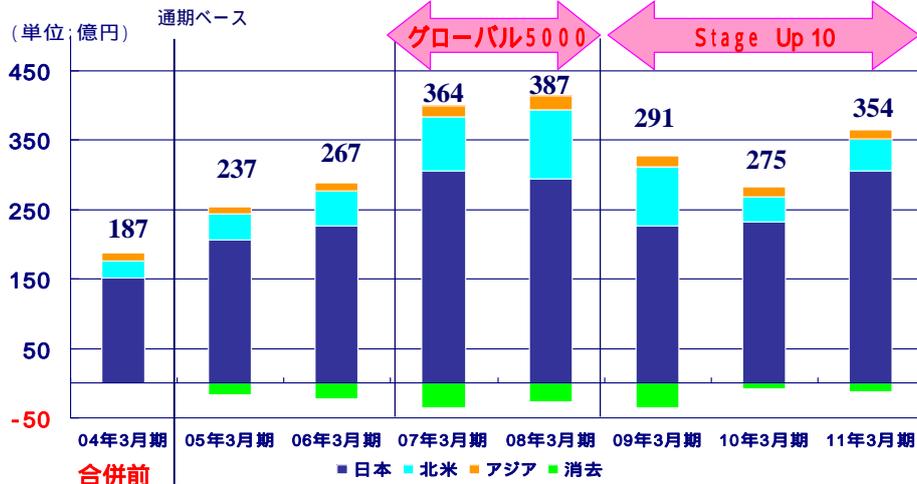
*04/3の数値は合併前業績を単純合算

05/3の数値 = 大陽日酸 (05年3月期) + 大陽東洋酸素 (04年9月期) - 両者間内部取引



2011/5/13

営業利益の推移



合併前

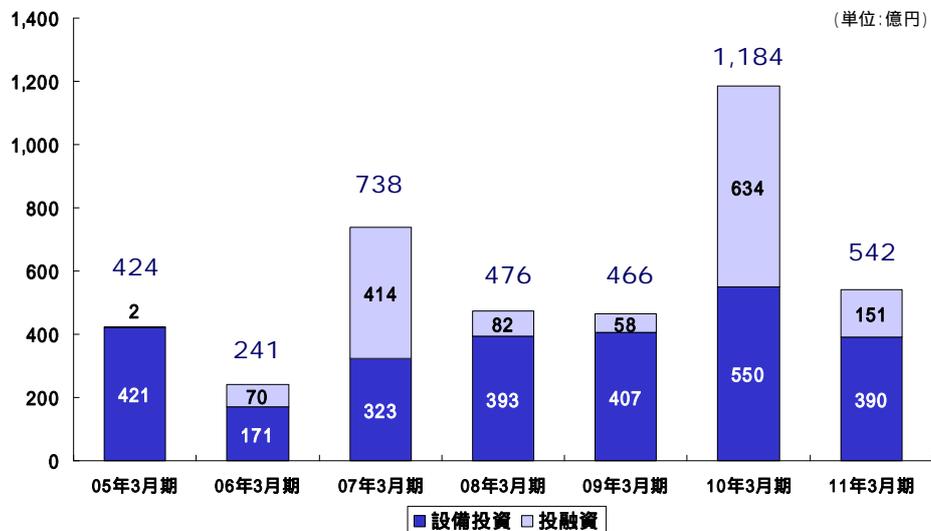
'04/3の数値は合併前業績を単純合算

05/3の数値 = 大陽日酸 (05年3月期) + 大陽東洋酸素 (04年9月期) - 両者間内部取引



2011/5/13

設備投資・投融資の推移



2011/5/13

設備投資・投融資の実績

合併初年度からの合計(05年3月期～11年3月期)

単位:億円

	金額	割合
日本	1,821	45%
米国	1,954	48%
中国	83	2%
アジア	214	5%
合計	4,072	100%

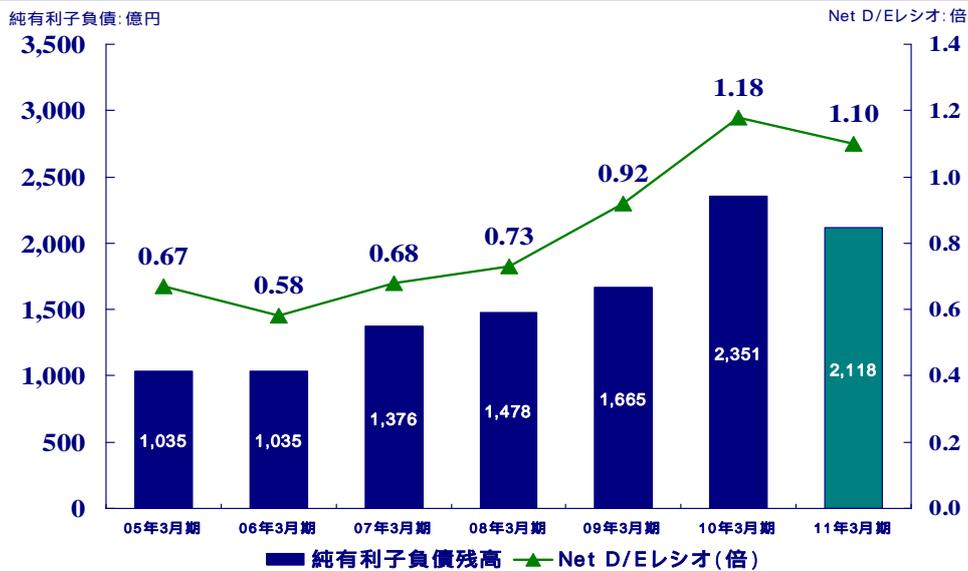
設備投資・投融資の実績(計画との対比)

前中期経営計画期間の合計(09年3月期～11年3月期)

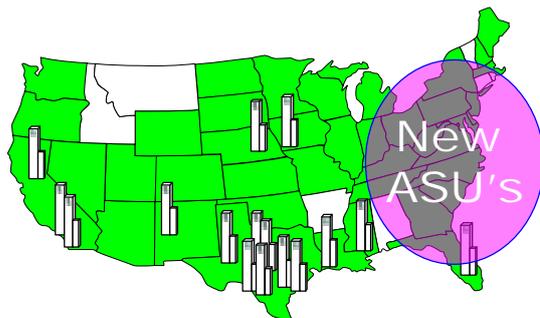
単位:億円

	計画	実施
設備投資	1,746	1,348
投融資	254	844
合計	2,000	2,192

純有利子負債及びNet D/Eレシオの推移



成長地域への取組み(U.S.A)



北米の主な投資案件

- 2004年 * Air Liquideより旧MesserのASU6基を買収
- 2006年 * 中西部の大手産業ガスメーカーのLinweld社を買収
- * BOCよりヘリウム事業を買収
- 2007年 * 南カリフォルニアで新たな大型ASUが稼動
- * APCIとヘリウム生産会社設立
- 2008年 * 南カリフォルニアFive Star Gas & Gear社を買収
- * 北カリフォルニアAeris社を買収
- 2009年 * Valley National Gases社を買収
- * アイオワ州、テキサス州に新ASU建設
- 2010年 * アセチレン製造・卸業者のWestern International Gas & Cylinders社を買収

成長地域への取組み(U.S.A)

2012年春、
Air Products & Chemicals Inc. とのヘリウム共同生産を開始

日本企業初のヘリウム生産事業

生産量300万 m^3 /年の約40%を
日本向けに出荷
国内年間輸入量1600万 m^3 に対する
当社シェアは 約33% 約38%に
向上(シェアは当社推定)



画像：建設中の新工場



2011/5/13

成長地域への取組み(Asia)

中国:大連長興島 新プラント竣工



アジアの主な投資案件

- 2004年 *タイ / ASU(#12) 建設
- *中 国 / 上海大陽日酸新ASU建設
- 2005年 *ベトナム / ASU増設(#2)
- 2006年 *フィリピン / 窒素オンサイト供給開始
- 2007年 *フィリピン / 窒素オンサイト供給開始
- *シンガポール / ASU増設(#3)
- *フィリピン / 窒素オンサイト供給開始
- 2008年 *フィリピン / ASU増設(#2)
- *ベトナム / 窒素オンサイト供給開始
- *シンガポール / 窒素オンサイト供給開始
- 2009年 *マレーシア / 酸素オンサイト供給開始
- 2010年 *中 国 / 大連長興島に新ASU建設
- 2011年 *ベトナム / 北部で新ASU生産開始
- *ベトナム / 南部で新ASU建設中
- *フィリピン / 新規ASU建設中

2011/5/13

成長地域への取組み(Asia)--ベトナム



4月に生産を開始した北部地域(ハノイ)の空気分離装置

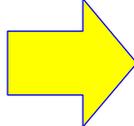


南部地域(バリア・ブンタウ州)の空気分離装置建設現場

ガス生産能力を大幅に増強

(高い経済成長を背景に、産業ガス需要は大幅に増加中)

南北の新プラント操業開始に伴い、
2012年ガス生産能力は
南北合わせてベトナムNo.1へ

シェア
20%  40%

南部では、地元大手電炉向けに続き、
CSVIC*向けパイピング供給契約を受注

*CSVIC:China Steel Sumikin Joint Stock Company



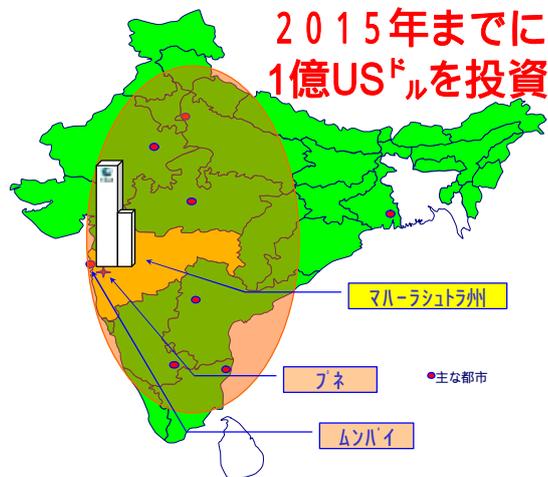
2011/5/13

成長地域への取組み(Asia)--インド

Matheson K-Air Indiaにて 当社グループ初となる空気分離装置建設を決定

【新空気分離装置の主な概要】

建設場所: マハラシュトラ州
ブネ市近郊
稼動時期: 2012年12月稼動予定
製造能力: 200トン/日(液化酸素、
液化窒素、液化アルゴン)



2011/5/13

成長市場への取組み(エレクトロニクス)

液晶パネル、太陽電池関連
グリーンフロント堺向けに
産業ガスの共同生産会社設立
特殊材料ガス供給設備等完成

液晶パネル工場



薄膜太陽電池工場

研究・開発関連

I B M / 次世代半導体向け材料ガスの開発
セリート / 次世代LSIの銅配線を保護する
バリアー絶縁膜の新素材

I M E C / 緑色高輝度LED量産用MOCVD装置に関する技術



2011/5/13

成長市場への取組み(エレクトロニクス)

新型大口径量産型MOCVD装置開発

UR26K



矢野経済研究所「照明用白色LED世界市場規模推移・予測」より



2011/5/13

川上戦略(エレクトロニクス)

モノシランガス、セレン化水素製造プロジェクト推進



2011年7月 エボニックデグサジャパン殿とのモノシラン共同生産開始
<生産能力:年産1000トン>



2011年6月 ジャパンファインプロダクツ(株)三重工場にてセレン化水素生産開始
<生産能力:年産20トン>
グループで更なる増強を計画中



2011/5/13

新中期経営計画の概要 (2011～2013年度)

(数値目標を含む正式計画は、大震災の影響を見極めた上で、適切な時期に公表いたします。)



2011/5/13

新中期経営計画の将来ビジョン

新中期経営計画(2011~2013)

グローバル戦略の強化
体質強化の推進



更なる発展に向けた事業基盤の強化



中長期目標として

売上高1兆円を目指す

新中期経営計画の位置づけ

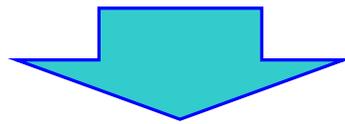
当社101年目の新たなスタート

原点回帰

今後の更なる発展のため、
並びに次なる50年、100年を
見据えた基礎固め

新中期経営計画の基本的な考え方

- 1) コンプライアンス、保安確保、品質管理の強化
- 2) 費用対効果、労力対効果を徹底的に追及した効率的な経営
- 3) 地域基盤の強化
- 4) シリンダービジネスへの注力
- 5) R & Dの強化
- 6) 積極投資の継続



企業価値の創造・向上

基本重要戦略

前中期経営計画の基本重要戦略を継続

1. 成長市場・成長地域への経営資源の集中
2. 川上戦略の強化
3. M & A戦略の推進
4. コストダウンの実行
5. グループ経営の強化

全社的な重点課題

グローバル戦略の強化

海外市場での事業拡大

米国市場 M&A事業のシナジー効果の早期実現、新たなM&Aの推進

中国市場 大型PJ案件への対応強化、
ローカルガスメーカーおよびディストリビューターのM&Aの推進

アジア市場 既存進出国の強化、新規進出検討

新興国市場 日系企業の海外進出への対応



2011/5/13

全体的な重点課題

体質強化の推進

既存事業の基盤強化

最適化・効率化

特約店との関係強化

積極投資の継続

既存事業

M & A



2011/5/13

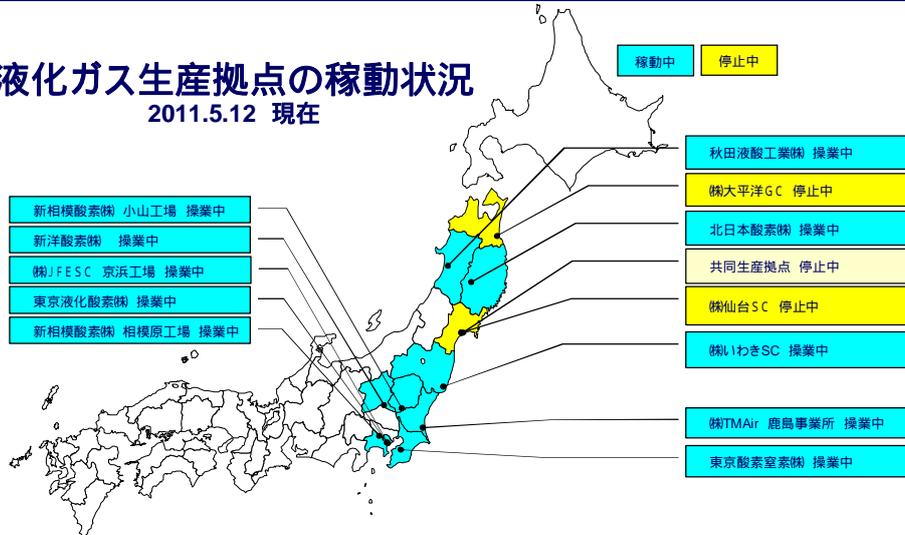
東日本大震災の影響について



2011/5/13

液化ガス生産設備の状況

液化ガス生産拠点の稼動状況 2011.5.12 現在



2011/5/13

被災状況および復旧見通し

仙台サンソセンター
空気分離装置 他

大平洋ガスセンター

多賀城事業所
充填設備など



津波が押し寄せる仙台サンソセンター



多賀城事業所の事務所1階(日酸
TANAKA)3月14日の様子



2011/5/13

今後懸念される事項

電力使用量抑制

電力コスト上昇

原発事故の深刻化・長期化

顧客動向(グローバルでの生産体制の見直し)



2011/5/13

2012年3月期 通期連結業績予想

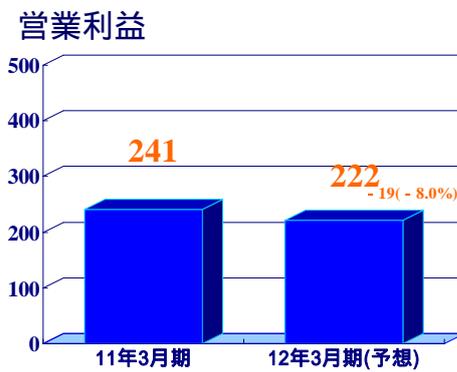
2012年3月期 通期連結業績予想

単位：億円

	11年3月期 (実績)	12年3月期 (予想)	増 減	増減率
売 上 高	4,836	4,930	93	1.9%
営業利益	354 7.3%	350 7.1%	-4	-1.3%
経常利益	341 7.1%	320 6.5%	-21	-6.3%
当期純利益	127 2.6%	177 3.6%	49	39.0%

2012年3月期 産業ガス関連事業セグメント予想

単位: 億円



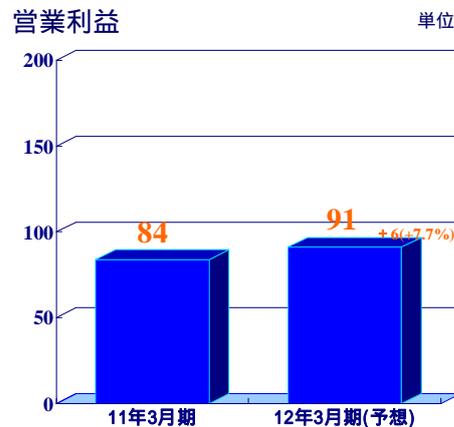
売上高のグラフは、海外売上高ベースで分類しております



2011/5/13

2012年3月期 エレクトロニクス関連事業セグメント予想

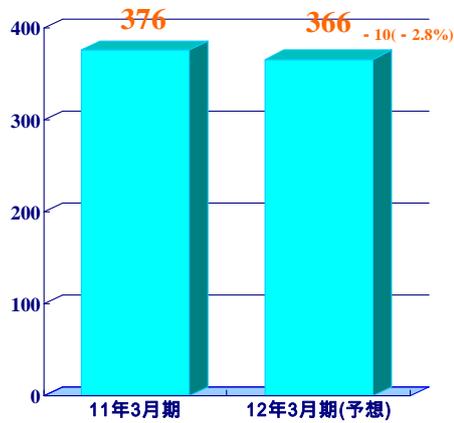
単位: 億円



2011/5/13

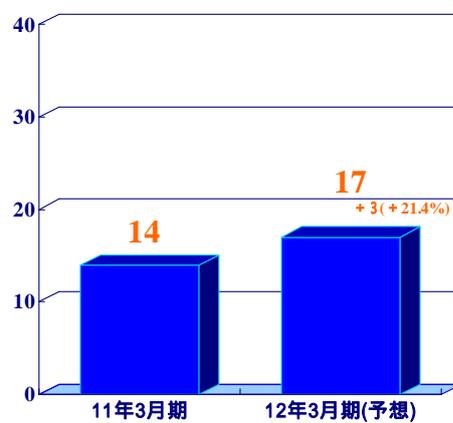
2012年3月期 エネルギー関連事業セグメント予想

売上高



営業利益

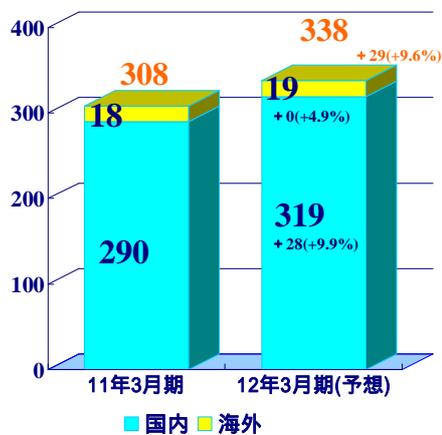
単位: 億円



2011/5/13

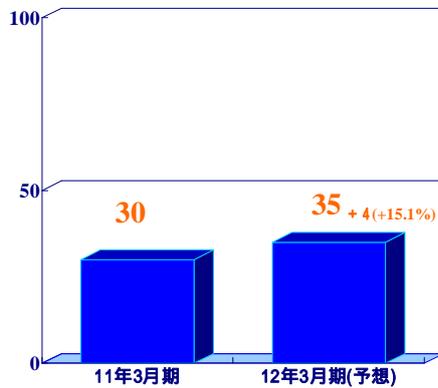
2012年3月期 その他事業セグメント予想

売上高



営業利益

単位: 億円



2011/5/13



注意事項

本資料は、証券取引上のディスクロージャー資料ではなく、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。

また、本説明会および本資料には将来に関する計画や戦略、業績に関する予想や見通しが記述されておりますが、これらは現時点で入手可能な情報により当社が判断、想定したものであり、実際の業績は様々なリスクや不確実性(経済動向、市場需要、為替レート、税制や諸制度等がありますが、これらに限りません。)を含んでおります。

このため、現時点での見込みとは異なる可能性がございますことをご承知おきいただき、本資料のみに依拠して投資判断されますことはお控え下さいますようお願い致します。